

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表1 予測数まとめ

測定点 区市名	予測 A (佐橋) (資料 2 2-3 頁)	予測 B (横山) (資料 3 3-6 頁)	予測 C (村山) (資料 4 4-6 頁)
千代田	3,300~5,000	5,700	5,101
葛飾		5,400	4,450
杉並		6,600	6,021
北		5,400	5,034
大田		5,300	6,472
青梅		16,000	19,548
八王子	6,200~9,200	11,300	10,921
多摩		9,300	9,745
町田		7,900	8,794
立川		7,600	9,887
府中		5,800	8,501
小平		4,100	5,031

(個/cm²/シーズン)

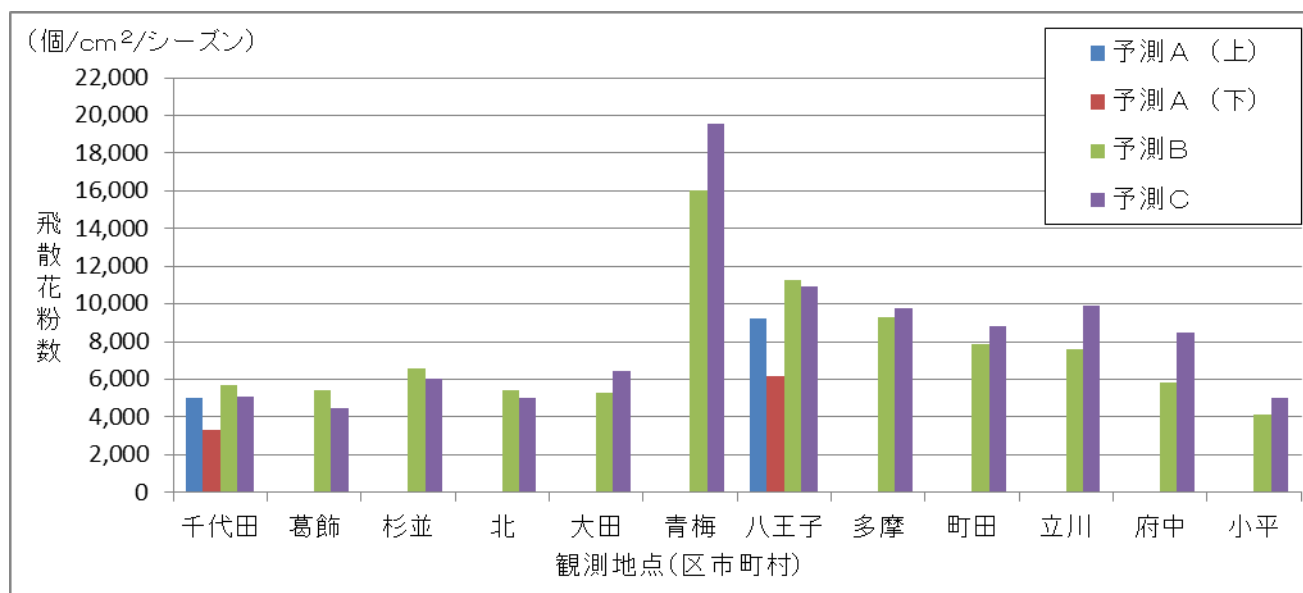


図1 飛散数予測の比較

2 予測幅の検討

表2 各予測と予測幅案

測定点 区市名	予測A (佐橋)	予測B (横山)	予測C (村山)	予測D (調整後)	下限※	上限※
千代田	3,300~5,000	5,700	5,101	5,401	4,590	6,211
葛飾		5,400	4,450	4,925	4,186	5,664
杉並		6,600	6,021	6,311	5,364	7,257
北		5,400	5,034	5,217	4,434	6,000
大田		5,300	6,472	5,886	5,003	6,769
青梅		16,000	19,548	17,774	15,108	20,440
八王子	6,200~9,200	11,300	10,921	11,111	9,444	12,777
多摩		9,300	9,745	9,523	8,094	10,951
町田		7,900	8,794	8,347	7,095	9,599
立川		7,600	9,887	8,744	7,432	10,055
府中		5,800	8,501	7,151	6,078	8,223
小平		4,100	5,031	4,566	3,881	5,250

※ 予測Dの±15% (小数点以下四捨五入)

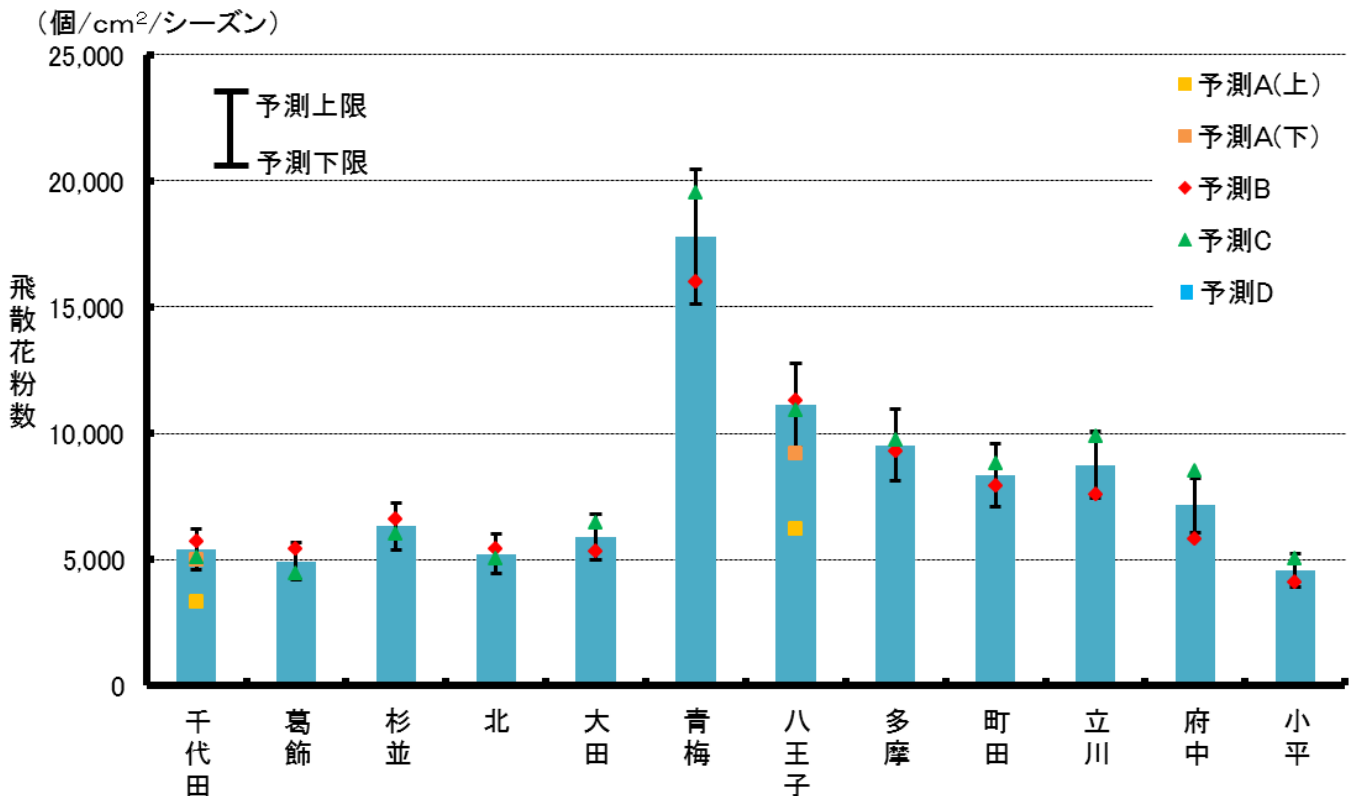


図2 予測幅案と各予測の比較

3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

表3 飛散花粉数

測定点 区市名	平成31年 飛散花粉数予測値※1	前年比 過去10年平均比	前年飛散 花粉数	過去10年の 平均飛散 花粉数	過去の 飛散花粉数※2	
					最小	最大
千代田	4,500 ~ 6,200	0.4~0.5 0.9~1.2	11,465	5,050	277	11,465
葛飾	4,100 ~ 5,600	0.3~0.5 0.8~1.1	11,959	4,930	136	11,959
杉並	5,300 ~ 7,200	0.4~0.5 0.9~1.2	14,614	5,867	118	14,614
北	4,400 ~ 6,000	0.4~0.5 0.9~1.2	11,707	4,948	242	11,707
大田	5,000 ~ 6,700	0.4~0.6 1.0~1.4	12,048	4,916	148	12,481
区部平均	4,600 ~ 6,300	0.4~0.5 0.9~1.2	12,359	5,142	—	—
青梅	15,100 ~ 20,400	0.5~0.7 1.1~1.6	31,092	13,143	125	37,899
八王子	9,400 ~ 12,700	0.5~0.7 1.0~1.4	18,955	9,129	142	24,958
多摩	8,000 ~ 10,900	0.6~0.8 1.0~1.4	14,197	7,945	1,035	21,565
町田	7,000 ~ 9,500	0.9~1.2 1.2~1.6	8,135	5,870	215	18,914
立川	7,400 ~ 10,000	0.7~0.9 1.2~1.7	10,569	6,020	1,292	19,969
府中	6,000 ~ 8,200	0.7~1.0 1.3~1.8	8,451	4,567	772	15,914
小平	3,800 ~ 5,200	0.6~0.9 1.2~1.6	5,932	3,304	291	12,345
多摩地域平均	8,100 ~ 10,900	0.6~0.8 1.1~1.5	13,904	7,140	—	—
都内平均	6,600 ~ 9,000	0.5~0.7 1.0~1.4	13,260	6,307	—	—

※1 花粉数は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器(ダラム型)のスライドグラス1平方センチメートル内に付着した花粉の個数である。
 ※2 過去の飛散花粉数(最大、最小)は都の観測開始(昭和60年)以降のものである。なお、千代田は平成2年以降、小平は平成9年以降、多摩・立川・府中は平成17年以降のものである。

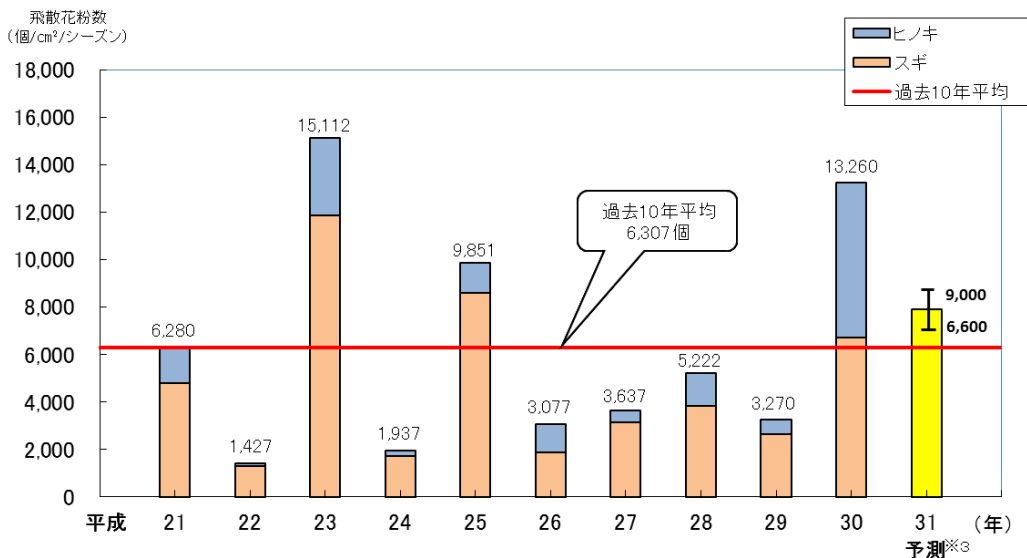


図3 飛散花粉数の経年変化 (都内12地点平均)

※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。

(個/cm²/シーズン)

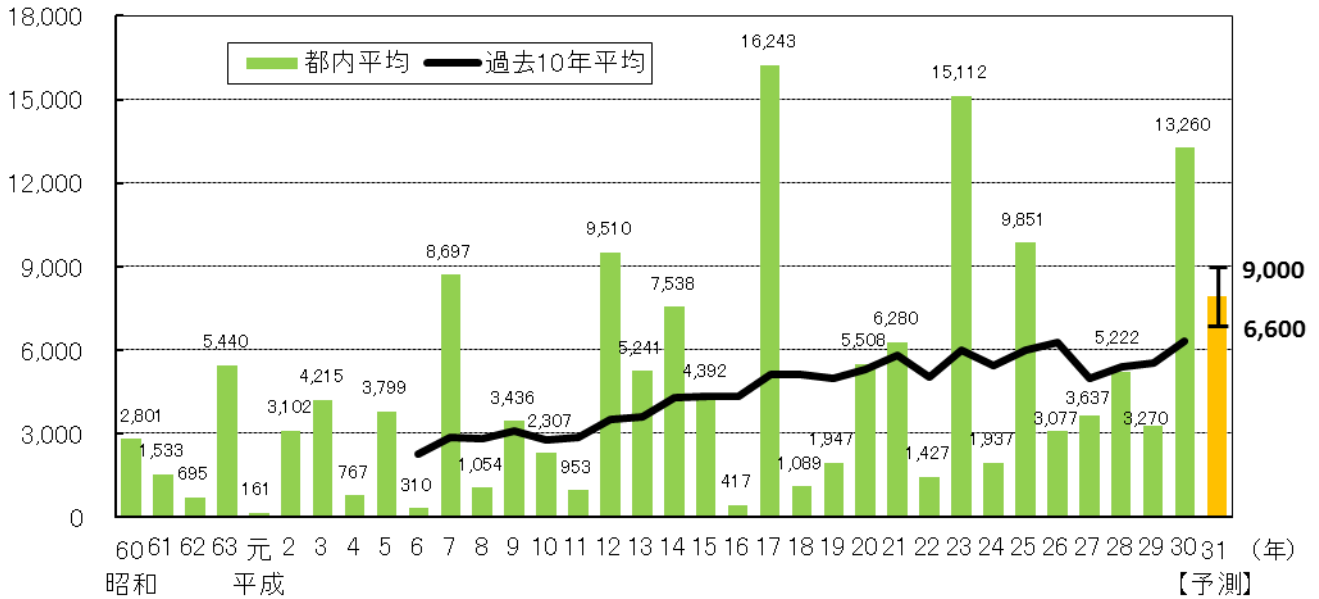


図4 飛散花粉数と過去10年平均

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、現時点の過去10年平均は、平成6年時点の過去10年平均と比べて、約3倍に増えています。

4 飛散花粉が多い日^{※4}の予測について

	平成31年予測	平成30年	過去10年平均
区部	34	47	34
多摩地域	40	41	31
都内平均	38	43	32

※4 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器（ダーラム型）で測定した数値が1日あたり30個/cm²以上の日

飛散花粉数が「多い（30個以上）」の日数は、平均で38日程度となり、前年の43日と比べ少なく、過去10年間の平均の32日と比べて多くなる見込みです。

5 飛散開始日の予測について

	平成31年予測	平成30年平均	過去10年平均
飛散開始日 都全体	2月11日～14日	2月15日	2月16日

飛散開始日は都全体で2月11日から14日頃と予測され、前年の平均や過去10年の平均と比較するとやや早めとなる見込みです。

なお、2月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。